

## 平成 31 年度 府立学校教育相談対応力向上研修 実施要項

1 目的 子どもが抱える様々な課題について理解を深め、支援の在り方について学ぶとともに、校内における教育相談活動及び相談体制の充実に必要な基本的な考え方や技術の習得を図る。

2 対象者 府立高等学校（岸和田市立の定時制の課程を含む）、府立支援学校の教育相談担当教員

募集人数 80 名

## 3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	6 月 26 日（水） 14:00～17:00	教育相談の現状と課題  教育相談体制づくり  〔講義・実習〕	大阪府教育センター 指導主事等  臨床心理士・精神保健福祉士 井上 序子
2	7 月 17 日（水） 14:00～17:00	不登校生徒への理解と支援  〔講義・研究協議〕	大阪府教育センター 臨床心理士・指導主事等

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田 4 丁目 13 番 23 号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約 700m  
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約 1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約 1,700m

5 担 当 室 教育相談室

6 その他 (1) 受付は 30 分前から  
(2) 印鑑を持参すること  
(3) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること  
(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと  
(5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと

## 平成 31 年度 研修のシラバス

1. 研修名	府立学校教育相談対応力向上研修 (研修番号 2359)	OSAKA 教職 スタンダード				
		共通の 指標	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
2. 目的	子どもが抱える様々な課題について理解を深め、支援の在り方について学ぶとともに、校内における教育相談活動及び相談体制の充実に必要な基本的な考え方や技術の習得を図る。	I	1			
			2		○	
			3		○	
		II	4			
			5			
			6			
		III	7			
			8			
			9			
		IV	10			
			11			
			12			
		V	13		○	
			14		○	
			15		○	

### 3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内 容	準備物・事前課題
1	教育相談の現状と課題	府立学校における教育相談の現状と課題について学ぶ。	教育相談の現状と課題について、また生徒指導と教育相談について理解を深める。	<b>事前課題</b> 生徒指導提要 第 5 章 「教育相談」 (文部科学省 平成 22 年 3 月) を読んでおくこと。 ⇒ <a href="#">ダウンロード</a>
	教育相談体制づくり	校内における教育相談活動及び相談体制づくりについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが抱える様々な課題や支援の在り方について理解を深める。</li> <li>教育相談体制の充実に必要な基本的な考え方について理解を深める。</li> </ul>	
2	不登校生徒への支援	不登校生徒への理解と支援の在り方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理的または情緒的な原因などにより不登校の状態にある生徒を理解する。</li> <li>大阪府高等学校教育支援センターにおける取組みを通して、不登校生徒への支援について理解を深める。</li> </ul>	
	不登校生徒への対応事例	不登校生徒への理解と支援の在り方や校内における教育相談活動及び相談体制について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校の仮想事例を使用し、支援について考える。</li> <li>研究協議を通して、校内における教育相談体制の在り方や関係機関との連携について理解を深める。</li> </ul>	